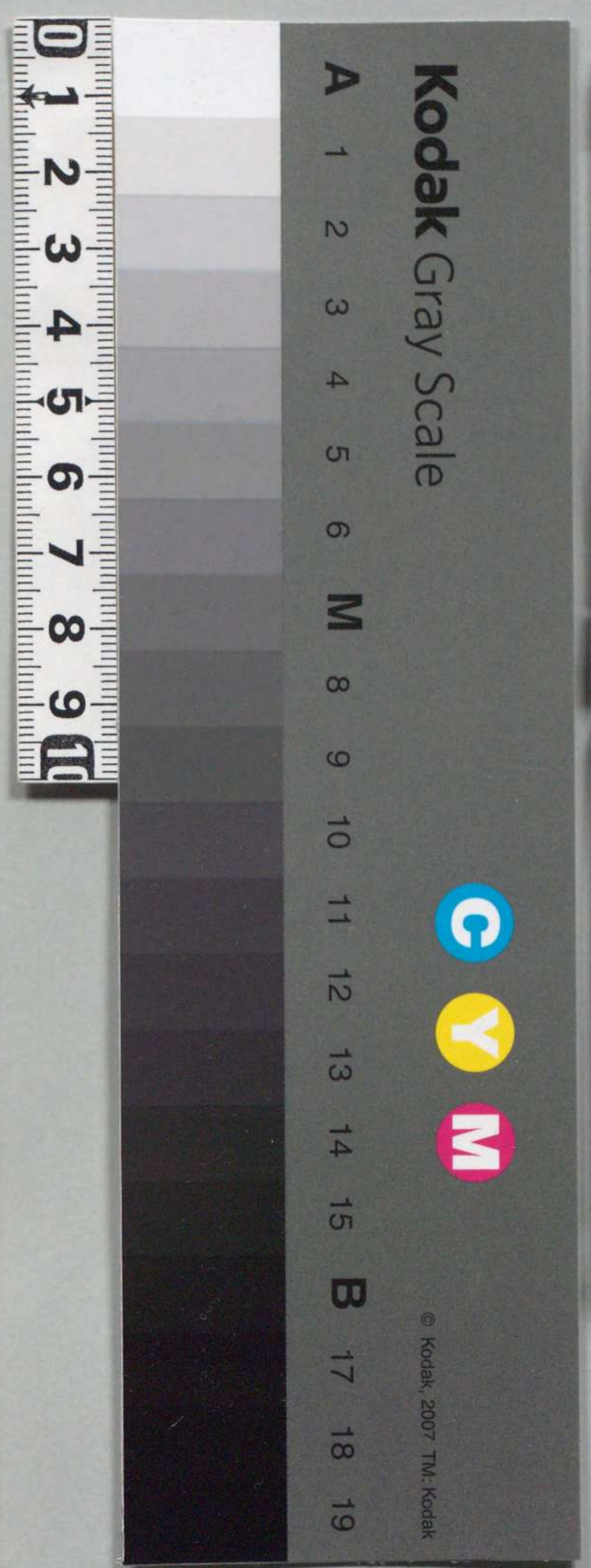
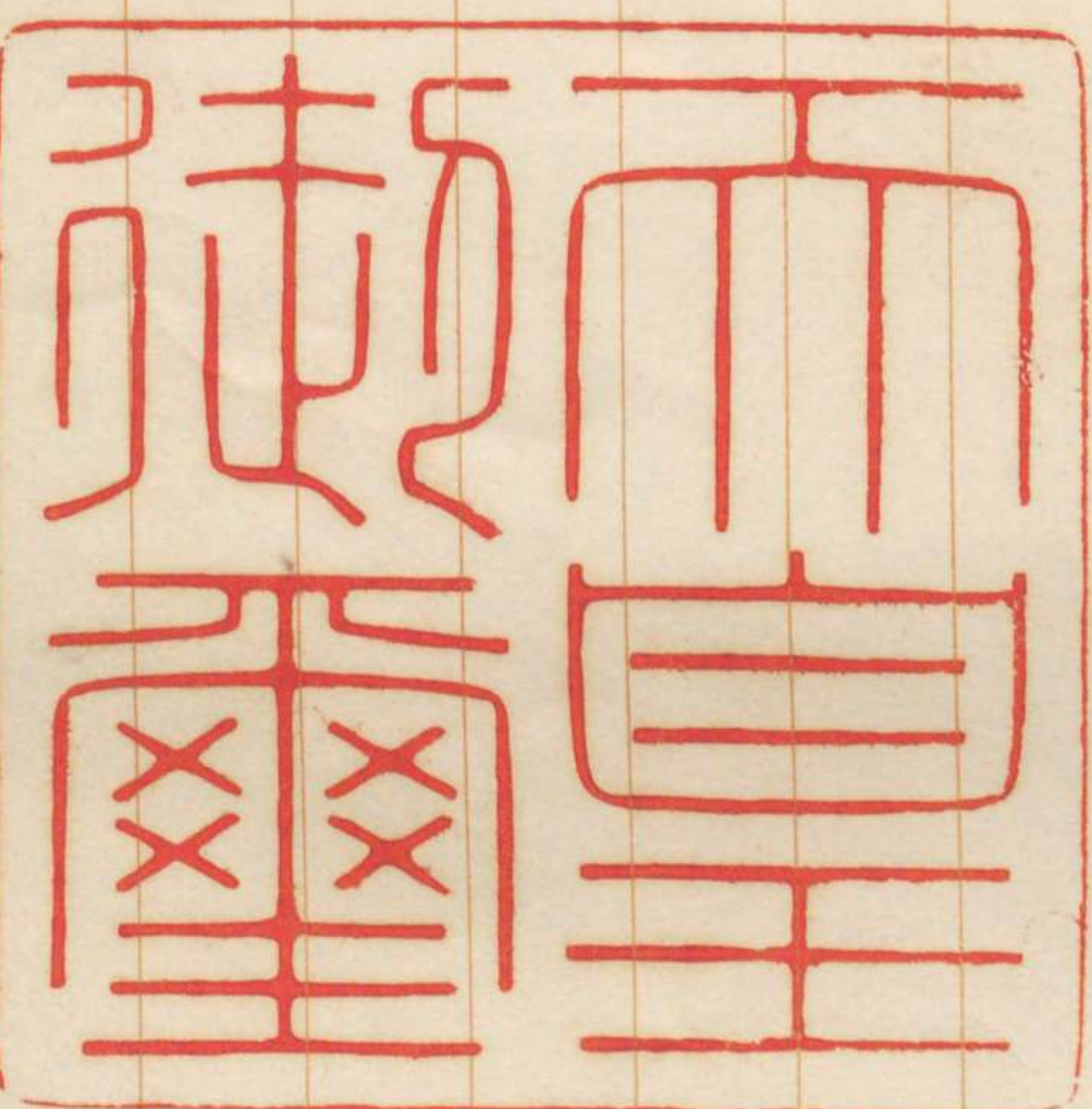


おん身るん号



朕臺灣總督府地方官官制ノ改正ヲ裁可
シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十一年六月十八日

内閣總理大臣侯爵 伊藤博文
内務大臣子爵 芳川駒正

勅令第百八號

臺灣總督府地方官官制

第一條 臺灣ニ臺北縣、臺中縣、臺南縣、宜
蘭廳、臺東廳及澎湖廳ヲ置ク其ノ位置
及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム
第二條 各縣ニ左ノ職員ヲ置ク

知事

書記官

警部長

稅務官

技師
典獄

屬

技手

警部

看守長

監獄書記

通譯

第三條 各廳ニ左ノ職員ヲ置ク但シ臺
東廳ニハ書記官技師看守長及監獄書

記澎湖廳ニハ書記官及技師ヲ置カス

廳長

書記官

警部長

技師

屬

技手

警部

看守長

監獄書記

通譯

第四條 知事ハ一人勅任トス

第五條 廳長ハ一人奏任トス

第六條 書記官、警部長、稅務官、技師及典獄ハ各一人奏任トス

第七條 技師ハ前條定員ノ外、縣廳ノ須要ニ依リ俸給豫算定額内ニ於テ適宜之ヲ置クコトヲ得

第八條 屬技手、警部、看守長、監獄書記及通譯ハ判任トス、各縣各廳ヲ通シテ七

百二十人ヲ以テ定員トス、其ノ各縣各廳ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定メ、其ノ各官ノ定員ハ臺灣總督ノ認可ヲ經テ知事、廳長之ヲ定ム

第九條 知事、廳長ハ臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ、法律命令ヲ執行シ、部内ノ行政事務ヲ管理ス

第十條 知事、廳長ハ部内ノ行政事務ニ付其ノ職權若ハ特別ノ委任ニ依リ、管内一般又ハ其ノ一部ニ縣令、廳令ヲ發

シ之ニ禁錮二十五日以下又ハ罰金ニ
十五圓以内ノ罰則ヲ附スルコトヲ得
第十一條 知事廳長ハ辨務署長ノ處分
若ハ命令ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又
ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキ
ハ其ノ處分若ハ命令ヲ取消シ又ハ停
止スルコトヲ得

第十二條 知事廳長ハ管内ノ靜謐ヲ維
持スルカ為メ兵力ヲ要スルトキハ之
ヲ臺灣總督ニ具狀スヘシ但シ其ノ非

常急變ノ場合ニ際シテハ直ニ其ノ附
近地ノ旅團長若ハ守備隊長ニ出兵ヲ
要求スルコトヲ得

第十三條 知事廳長ハ所部ノ官吏ヲ監
督シ奏任官ノ功過ハ臺灣總督ニ具狀
シ判任官以下ノ進退ハ之ヲ專行ス
第十四條 知事廳長ハ所部ノ奏任官ノ
懲戒ヲ臺灣總督ニ具狀シ判任官以下
ハ之ヲ專行ス

第十五條 知事廳長ハ廳中處務ノ細則

ヲ設クルコトヲ得

第十六條 知事廳長事故アルトキハ上
席高等官其ノ職務ヲ代理ス

知事廳長ハ縣廳ノ官吏ヲシテ其ノ事
務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ
得

第十七條 知事廳長ハ臺灣總督ノ認可
ヲ經テ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部
ヲ辨務署長ニ委任スルコトヲ得

第十八條 各縣ニ知事官房、内務部、稅務

部、警察部及監獄署ヲ置キ、宜蘭廳ニ内
務課、財務課、警察課及監獄署ヲ、臺東廳
ニ總務課及警察課ヲ、澎湖廳ニ總務課、
警察課及監獄署ヲ置ク其ノ事務ノ分
掌ハ臺灣總督ノ認可ヲ經テ知事廳長
之ヲ定ム

第十九條 縣ニ在テハ書記官ハ内務部
長、稅務官ハ稅務部長、警部部長ハ警察部
長、典獄ハ監獄署長ト為リ知事ノ命ヲ
承ケ所部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏

ヲ監督ス

宜蘭廳ニ在テハ廳長ハ内務課長書記官ハ財務課長警部長ハ警察課長ト為リ臺東廳及澎湖廳ニ在テハ廳長ハ總務課長警部長ハ警察課長トナリ廳長ノ命ヲ承ケ所部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

第二十條 各部長課長又ハ監獄署長事故アルトキハ知事廳長ニ於テ縣廳官吏ノ一人ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第二十一條

術ニ關スル

官ノ命ヲ承ケ技

第二十二條

屬

在テハ知事官房

内務部又ハ稅務部ニ屬シ廳ニ在テハ總務課内務課又ハ財務課ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第二十三條

技手ハ上官

指揮ヲ承ケ

技術ニ從事ス

第二十四條

警部ハ警察部警察課又ハ辨務署辨務支署ニ分屬シ上官ノ指揮

ヲ監督ス

宜蘭廳ニ在テハ廳長ハ内務課長書記官ハ財務課長警部部長ハ警察課長ト為リ臺東廳及澎湖廳ニ在テハ廳長ハ總務課長警部部長ハ警務課長トナリ廳長ノ命ヲ承ケ所部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

第二十條 各部長果シテ又ハ監獄署長事故アルトキハ又ハ監獄署長事故長ニ於テ縣廳官吏ノ一人ヲ事務ヲ代理セシム



第二十一條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ニ關スル事ヲ掌ル

第二十二條 屬ハ縣ニ在テハ知事官房内務部又ハ稅務部ニ屬シ廳ニ在テハ總務課内務課又ハ財務課ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二十三條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第二十四條 警部ハ警察部警察課又ハ辨務署辨務支署ニ分屬シ上官ノ指揮

ヲ承ケ警察ニ関スル事務ヲ分掌シ部
下ノ巡查ヲ指揮監督ス

第二十五條 看守長ハ監獄署又ハ監獄
支署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ
戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス
廳ニ在テハ看守長ヲ以テ監獄署長ニ
充ツ

第二十六條 監獄書記ハ監獄署又ハ監
獄支署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務
ニ従事ス

第二十七條 通譯ハ縣廳ノ各部課及其
ノ他ノ官署ニ分屬シ上官ノ指揮ヲ承
ケ通譯ニ従事ス

第二十八條 知事廳長ハ必要ト認ムル
トキハ臺灣總督ノ認可ヲ經テ監獄署
ノ下ニ監獄支署ヲ置クコトヲ得
監獄支署長ハ看守長ヲ以テ之ニ充ツ
監獄支署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ
署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ
監督ス

第二十九條 巡查及看守ニ関スル規程
ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 縣廳職員ノ外警察医及監獄
醫ヲ置キ判任官ノ待遇トス

第三十一條 縣廳ニ參事ヲ置クコトヲ
得

參事ハ各縣各廳五人以内トシ奏任官
ノ待遇トス

參事ハ縣廳管轄内ニ居住シ學識名望
アル者ニ就キ内務大臣ヲ經テ臺灣總

督之ヲ奏薦宣行ス

第三十二條 參事ハ地方ノ行政事務ニ
關シ知事廳長ノ諮問ニ對シ意見ヲ述
フルモノトス

參事ハ知事廳長ノ命ヲ承ケ事務ニ從
事スルコトアルヘシ

第三十三條 縣廳ノ管内須要ノ地ニ辦
務署ヲ置ク其ノ位置名稱及管轄區域
ハ臺灣總督之ヲ定ム

臺東廳及澎湖廳ノ管内ニハ辦務署ヲ

置カス廳ニ於テ其ノ事務ヲ掌理ス
前項事務ノ為メ廳ノ管内ニ其ノ出張所ヲ
置クコトヲ得出張所ノ名稱位置及管轄區
域ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十四條 各辨務署ニ警部ノ外左ノ
職員ヲ置ク

署長

主記

技手

第三十五條 署長ハ各署一人奏任又ハ

判任トス

第三十六條 主記、技手ハ判任トス各署
ヲ通シテ五百五十人ヲ以テ定員トス
其ノ各縣各廳下ノ定員ハ臺灣總督之
ヲ定メ其ノ各官ノ定員並ニ各辨務署
ノ定員ハ知事廳長之ヲ定ム

第三十七條 各辨務署ニ左ノ三課ヲ置
キ事務ヲ分掌セシム

第一課 他課ノ主務ニ屬セサル一切
ノ事務ヲ掌ル

第二課 警察ニ関スル事務ヲ掌ル

第三課 蕃人蕃地ニ関スル事務ヲ掌ル

知事廳長ハ各辨務署ノ須要ニ應シ臺灣總督ノ認可ヲ經テ前項分課中ノ一課若ハ二課ヲ置カサルコトヲ得

第三十八條 知事廳長ハ辨務署ノ或ル一部ノ事務ヲ掌理セシムル為メ臺灣總督ノ認可ヲ經テ辨務署ノ下ニ辨務支署ヲ置クコトヲ得

辨務支署長ハ主記警部又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツ

第三十九條 署長ハ知事又ハ廳長支署長ハ署長ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ掌理ス

第四十條 署長ハ部下ノ官吏ヲ監督シ其ノ進退功過ヲ知事廳長ニ具状ス

第四十一條 署長ハ部内ノ街庄社等ノ長ヲ監督シ其ノ進退及成績ヲ知事廳長ニ具状ス

第四十二條 署長、支署長事故アルトキハ各其ノ上席主記、警部又ハ技手其ノ職務ヲ代理ス

署長、支署長ハ部下ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第四十三條 主記、警部、技手ハ署長又ハ支署長ノ命ヲ承ケ各其ノ主務ニ従事ス

第四十四條 辨務署ニ參事ヲ置クコト

ヲ得

參事ハ各署五人以内トシ判任官ノ待遇トス

參事ハ辨務署管轄内ニ居住シ學識名望アル者ニ就キ知事廳長之ヲ命ス

第四十五條 參事ハ部内ノ行政事務ニ關シ署長ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フルモノトス

參事ハ署長ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事スルコトアルヘシ

附則

本令ハ明治三十一年六月二十日ヨリ施行ス

明治三十年勅令第百六十三號臺灣總督府撫墾署官制ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス